

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス事業所きらり		
○保護者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年2月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	46	(回答者数) 37
○従業者評価実施期間	令和7年1月10日		～ 令和7年2月15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月21日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<p>子どもたちと一緒に、乗馬やふれあい、馬のお世話などに取り組んでいます。</p> <p>馬を介して地域との交流を行っています。</p> <p>乗馬やふれあい体験のイベントを開催する中で、子どもたちもスタッフとして参加して、仕事の体験やきらり以外の大人や子どもと関わる機会を設けています。</p>	<p>活動について、SNSやポスターを使って発信しています。</p> <p>馬との関わり方のO×表(イラストや写真を使用した)を用意して、事前に見て理解できるように工夫しています。</p>	<p>安全に活動するため、馬の活動や、野外活動などの知識と技術を身につけていきます。</p> <p>馬の活動に関わる職員を増やしていきたいです。</p>
2	<p>子どもたちから、「やってみたい」「苦手です」などの意見が出る事が多いです。</p> <p>専門性を高めるための研修を受ける中で、子どもたちが自分の想いを伝えられるような支援を目指しています。</p>	<p>子どもたちが気持ちの表出ができるように、イラストや文字でカードを用意したり、伝えやすい環境・関係づくりを努めています。</p> <p>想いを伝えることができた時には、まずは想いを受け止めて、その後、活動を工夫したり、解決方法を一緒に考えるようにしています。</p>	<p>ひとりひとりに合わせた、想いを表出するためのツールを模索して、増やしていきたいです。</p>
3	<p>季節のイベントや、地域と関わる活動、年代や障害特性に応じた活動など、充実できるように努めています。</p> <p>活動を選択できるようにしています。</p>	<p>活動内容について、子どもたちが理解しやすいように、イラストや写真、動画などを使って伝えるようにしています。</p> <p>ひとりひとりの興味のあることを取り入れて、楽しみながら成長できるように工夫しています。</p>	<p>地域の施設や、自然の中で活用できるものなど、活かしきれていない地域資源を活用していきたいです。</p>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<p>児童クラブや放課後教室の子どもたちと一緒に活動する機会を設けることが出来ていません。</p>	<p>児童クラブや放課後教室との交流が図れていないため、まずは、近隣との連携や親交を深めていきたいです。</p>	<p>利用者全員が一同に出向くことは難しい時もあるため、少人数ずつ交流する機会を設けたり、事業所が企画するイベントに声をかけたりしていきたいです。</p>
2	<p>非常災害時の避難についてや安全計画について、保護者への周知が不足しています。</p>	<p>避難訓練を行った際は、その都度訓練の内容や避難場所についてお知らせをしていますが、安全計画など具体的に伝えることができていないです。</p>	<p>非常時の避難についてや、安全計画について、保護者会などを通して、保護者へ周知していきたいと思っています。</p>
3	<p>保護者同士やきょうだいが交流できる機会が少ないです。</p>	<p>新年度へ向けた保護者会を開催する中で、交流ができる機会を設けていますが、年に1回の短時間の開催のため、参加できる人も限られてしまい、交流も充分にできていないです。</p>	<p>保護者やきょうだいが参加、交流できるようなイベントを考えていきたいと思っています。</p>

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス事業所きらり

公表日 令和7年2月28日

利用児童数 51

回収数 37

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	19	3	1	5	事業所の中をゆっくり見たりすることがあまりないのでわからないとさせていただきます。	送迎時や面談時など、事業所の環境を見ていただく機会を設けていきたいと思えます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	16	3		7	事業所の中をゆっくり見たりすることがあまりないのでわからないとさせていただきます。	送迎時や面談時など、事業所の環境を見ていただく機会を設けていきたいと思えます。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17	2		8	事業所の中をゆっくり見たりすることがあまりないのでわからないとさせていただきます。	送迎時や面談時など、事業所の環境を見ていただく機会を設けていきたいと思えます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	1		9		送迎時や面談時など、事業所の環境を見ていただく機会を設けていきたいと思えます。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	37					子どもたちの特性に応じた支援ができるよう、専門性を高めていきたいと思えます。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1		3		支援プログラムを軸にしながら、ひとりひとりに合わせた支援をしていきたいと思えます。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	37					今の子どもたちにとって大事にしたいポイントを計画していけるよう、努めていきます。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	35			2		今後、項目の設定を行っていきます。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	1		1		計画に沿って支援を行う中で、その都度柔軟に対応していきたいと思えます。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	31	2		4		より一層、子どもたちと様々な活動に挑戦していきたいと思えます。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	21	3	4	10		地域に開かれたイベントを開催したり、参加したりする中で、関わりを持つことができたと思います。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	37					利用契約時に説明を行うようにしています。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	37					計画を更新することに内容を説明させていただいています。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	34			2	兄弟児も一緒に参加できるプログラム希望(年1~2回)	きょうだいじやご家族も参加できるイベントを行ってきたいと思えます。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	37					送迎時や、電話、アプリなどを使用して、共有できるよう努めています。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	35	1		1		ご家族と共に、子どもたちの成長を見守り、一緒に悩んでいきたいと思えます。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	36			1		ご家族や子どもたちの思いに寄り添えるような事業所でありたいと思えます。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	21	5	3	8	同じ発達段階の似たケースの話を知りたい、とお伝えしたら、後日茶話会を開催して下さい、すごく心が軽くなり将来に希望がみえました。ありがとうございました。 保護者会やきょうだい交流会を望んでいるわけではないので現状のままで構わないです。学年が上の子の保護者さんの話が聞きたいと思うこともありますが、その時は職員の方に相談したり、茶話会に行ってみようと思っています。	ご家族やきょうだいへの支援について、取り組んでいきたいと思えます。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35			2		ご家族やきょうだいへの支援について、取り組んでいきたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	36			1		必要に応じて、絵カードや筆談、電話、アプリなどを使用してやり取りをしています。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	33	2		2		SNSやきょうだよりなどを活用して発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	34			3	事業所内での管理体制は見るのができないのでわかりませんが、作品展や、他の媒体が関わる際は確認を取っていただき、留意されていると感じる。	個人情報に関わる書類は、鍵のついたロッカーにて管理させていただいております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	30	2		5		各マニュアルを策定していますが、周知、説明ができていません。今後周知していきたいと思います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29			8		年に1回以上、子どもたちと避難訓練を行っています。また、非常時の対応について研修を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	33	1		4		安全計画について周知できていません。保護者会にてお伝えできたらと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33			3	誤飲した際、説明をすぐに受け、丁寧な対応をしていただきました。病院にも一緒にいて下さり、先生にも本人に伝えるように絵で説明します、とか親が伝えにくいことを言って下さりすごく心強かったです。	事故が発生した際には、速やかに保護者に連絡するように努めています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	37				日によって機嫌の良し悪しはありますが、毎日の安定したリズムになっていると思います。	子どもたちが、自分自身を認めてもらえる場所と考えるように努めています。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	36	1			とても楽しみにしていて、帰ってくる時もニコニコ、楽しそうに帰ってくる。先生のことが大好きなことが伝わってくる。	職員も一緒に楽しむ中で、子どもたちの楽しみもたくさん見つけていきたいと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	37				大満足しています。	今後も、ご家族、子どもたちにとって信頼できる存在でいられるように努めていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス事業所きらり				公表日	令和7年2月28日
		チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
		環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	3
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		6	4	子どもの状態に合わせて、配置するようにしています。	子どもの状態や、職員の数に応じて、活動を工夫していきます。	
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		8	2	身体を動かせる部屋や、リラックスできる空間など、わかりやすい構造になるようにしています。	視覚的な刺激をより減らしてこどもたちが集中して活動、遊べる環境づくりに務めています。	
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		8	2	個別で活動する空間と、集団で活動する空間が見てわかるように設定してあります。	視覚的な刺激をより減らしてこどもたちが集中して活動、遊べる環境づくりに務めています。	
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		10		個別に過ごせる空間を数カ所用意しています。必要に応じて声をかけるようにしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。		7	3	業務の優先順位について、職員間で検討しながら業務にあつてはいます。	業務改善を進めるために、業務の優先順位や分担について、より考えていきたいと思えます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		10		保護者向け評価表だけでなく、直接ご意見をお伺いするようにしています。	より意向を伝えやすい関係性を築いていきたいと思えます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		9	1	職員でミーティングを行う中で、お互いの意見を伝えあっています。	業務改善を進めるために、業務の優先順位や分担について、より考えていきたいと思えます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		6	4	第三者委員会は設置できていません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。		10		研修を受講できる機会を確保しています。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		10		支援プログラムをホームページにて公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		10		なるべくグループで課題を分析して、計画を作成するように努めています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		10		なるべくグループで課題を分析して、計画を作成するように努めています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。		10		計画を元に支援を行い、評価や振り返った内容を記録するようにしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		10		日々活動の中で評価を行い、次の支援に繋げるようにしています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。			10		今後、必要な項目を設定していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		9	1	こどもひとりひとりの発達に合わせた活動について話し合っています。	引き続き、職員同士で話し合いながら、プログラムを考えていきたいと思えます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		10		季節の行事を取り入れたり、同じプログラムでも、内容を変更したりするなど、工夫しています。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	10			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直し必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	10			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	10		必要に応じて情報提供を行っています。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	10			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10			
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10			
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	10			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	10			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10		迅速に対応できるよう努めています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	10		SNSやきらりだよりなどを活用して発信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10		きらっと乗馬会やきらっとはーと展の開催、地域のお祭りや、福祉大会への参加など、地域と関わる行事に取り組んでいます。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	10			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10	10	アレルギーについて、利用開始時に聞き取りを行っています。	今後、医師の指示書の提出をお願いしていきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	10	避難訓練など、その都度行った内容をお知らせしています。	安全計画について保護者会にて、周知していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10				